

いのちの授業【英語科】学習指導案

指導者 T

1. 本時の指導

(1) 題材 識字から世界と自分を見つめる

(2) 目標 「子供の権利条約」に“教育を受ける権利”があるにも関わらず、貧困や病気、差別などの様々な問題により、世界には学校に行くことができず読み書き計算ができない子どもが多くいることを知る。(英語科)

非識字者の気持ちを体験し、その人たちのために自分ができることを考える。また、教育を受けることができ、識字者である自分たちは、本当に自分の生活を大切にしているかを振り返る。(いのちの授業)

(3) 指導過程

	学 習 活 動	主な発問()と指示()	指導上の留意点(・)と評価()
導 入	世界には学校に行けず、読み書き計算ができない子どもたちがいることを知る。	この子どもたちは何をしていると思いますか。 ・ 檻に入っているみたい バングラデッシュでは38%、日本ではほぼ100%、何を表す数字だと思いますか。 バングラデッシュではなぜ38%の人しか読み書き計算ができないのでしょうか。考えてみよう。 ・ お金がない ・ 学校に行けない ビデオでその理由を見ましょう。	・ 外から学校の様子を覗いている子どもたちの写真を提示する ・ 識字について説明する
展 開	みんなで地図を作るという社会参加に、識字者と非識字者で違いがあることを体験する。	これから村を開発していこうと思います。そのために、まずグループになって、村の地図を完成させてください。15分です。	・ 識字者用のカードと非識字者用のカードを用意し、カードはそれぞれ他に見せないようにする。
ま と め	社会生活を送る中で、非識字者が受ける意識を考える。	活動を振り返って感想を発表してください。 ・ 自分は何もできず、悲しかった ・ 字を読めない人がいるなんて知らなかった。やる気がないと思っていた。	非識字者の気持ちを考えられているか。
い の ち の ま と め	世界には多くの恵まれない子どもたちがいる中で、平和な日本で教育を受けている自分たちは、その生活を全う	最初に提示した写真の子どもたちの気持ちを 考えてみよう。 ・ 学校に行きたい ・ 勉強したい 彼らのために自分にできること、また、	・ 時間があれば、ユニセフやユニセフの活動を紹介する ・ 恵まれた環境に甘えている自分を振り返させたい。

め	しているのかを振り返る。	教育を受けることができる今の自分を見つめなおしてみよう。	
---	--------------	------------------------------	--

(4) 評価

識字について理解することができたか。

非識字者の気持ちを考えることを通して、自分が彼らのためにできることを考えたり、自分の生活を見つめなおすことができたか。